

シラバス参照

授業科目名	運動療法学総論
単位数	1
授業形態	講義
講義コード	6048
授業担当者氏名	後藤寛司(ゴトウ ヒロシ)

授業の到達目標 (ディプロマポリシーとの関連)	(1) 運動療法の歴史、定義、目的、対象、種類、効果などについて説明できる。(DP1, DP2, DP3) (2) 筋骨格系(骨・関節・筋)の構造と機能について説明できる。(DP1, DP2, DP3) (3) 神経機構、および運動系の神経系制御機構について説明できる。(DP1, DP2, DP3) (4) 呼吸器系の構造と機能について説明できる。(DP1, DP2, DP3) (5) 循環器系の構造と機能について説明できる。(DP1, DP2, DP3) (6) 代謝系の構造と機能について説明できる。(DP1, DP2, DP3) (7) 運動と各器官系(筋骨格系、神経系、呼吸器系、循環器系、代謝系)の関係について説明できる。(DP1, DP2, DP3)	
授業概要	運動療法とは何か、運動療法の歴史と考え方など基本的概念について学び、筋力増強運動、関節可動域拡大運動などの基本的な運動療法を学習する。また、松葉杖の使い方や車椅子の構造と操作方法など、整形外科疾患で用いる基本的な補助具についての理解を深める。さらに中枢神経障害に対するアプローチの概要を解説し、障害の理論的な分類ができるように教授する。	
教育課程内の位置づけ	リハビリテーション学科 理医学療法学専攻 専門教育科目 専門科目 理学療法治療学 1年 必修科目	
授業におけるアクティブな特徴	特徴	該当
	A: 課題解決型学習(PBL)企業、自治体等との連携あり	-
	B: 課題解決型(PBL)連携なし	-
	C: 討議(ディスカッション、ディベート等)	-
	D: グループワーク	-
	E: プレゼンテーション	-
	F: 実習、フィールドワーク	-
	G: 双方向授業(ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等)	○
	H: 双方向授業(ICT活用あり: クリッカー、manaba等)	○
	I: 反転授業	○
	J: 外国語のみで行われる授業	-
	K: オープンな教育リソース(JMOOC・edX・Coursera等)を利用した授業	
実施形態	対面授業科目	
実施形態について	※本学では、授業科目を以下のとおり分類しています。 対面授業科目 : 授業回数の全部あるいは授業回数の半数以上を対面で行う授業科目 メディア授業科目 : 上記「対面授業科目」以外で、主にメディアで行う授業科目 ※上記実施形態と異なる授業回がある場合は、以下「授業計画」欄に記載しています。 ※新型コロナウイルス感染症の状況により、変更となる可能性があります。 変更の場合はmanaba等で連絡します。	
授業計画	第1回	オリエンテーション・運動療法とは何か
	第2回	【メディア授業】骨・関節の構造・機能と運動 繰返し学修を行うためメディア授業(オンデマンド配信)で実施
	第3回	筋の構造・機能と運動
	第4回	【メディア授業】神経系の構造・機能と運動 繰返し学修を行うためメディア授業(オンデマンド配信)で実施
	第5回	呼吸器系の構造・機能と運動

	第6回 【メディア授業】代謝系の構造・機能と運動 繰り返し学修を行うためメディア授業(オンデマンド配信)で実施	
	第7回 循環器系の構造・機能と運動	
授業外学修 予習(事前学修)	各授業 [平均100分]	毎回の授業前に、各単元に該当する教科書と参考資料の内容を読んでおくこと。分かりにくい用語や文章に、下線、あるいは付箋で印を付け授業に臨んでください。
授業外学修 復習(事後学修)	各授業 [平均100分]	毎回の授業後に、授業資料や説明内容を再確認し、理解が不十分な箇所を抽出し、教科書やその他参考書を基に再学習すること。それでも理解が困難な場合、随時質問してください。
評価方法	期末試験(70%)と小テスト・課題(30%)を基準に、受講態度を加味し、総合的に評価する。 期末試験と小テスト・課題の点数配分については、習熟度に応じて変更する場合がある。 ・期末試験は、筆記試験(対面形式)にて、理解度や到達を確認・評価する。 ・小テスト・課題にて、授業ごとの理解度を確認・評価する。 なお、遅刻、早退や劣悪な受講態度は減点の対象とする。	
教科書等	【教科書】 「運動療法学 総論 第4版」吉尾雅春(編)(医学書院, ISBN:978-4-260-02786-1, 4,700円＋税) 【参考書】 「運動療法大全 第6版 I 基礎編」黒澤和生(監修)(ガイアブックス, ISBN:978-4-88282-972-0, 6,800円＋税) 「ゴールド・マスター・テキスト 運動療法学」柳澤健(編)(メジカルビュー社, ISBN:978-4-7583-1109-0, 4,900円＋税) また、必要に応じて適宜資料を配布する。	
課題に対するフィードバックの方法	授業時、ポータルサイト、あるいはmanabaにて実施する。	
その他	初回の授業で本講義の目的、予習や復習に関する課題、成績評価法などの詳細を説明する。 ※受講学生の習熟度により授業計画を変更することもある。	
授業担当者の実務経験の有無	実務経験あり	
「授業担当者の実務経験の内容」および「実務経験を活かした授業内容」	病院、施設や在宅における理学療法の実践および経験に基づいて、運動療法における理論と実践応用について解説する。	
ファイル		